

九建日報

発行所
株式会社 九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表092(431)5361 番
FAX 092(431)7613 番
購読料1ヶ月7,020円

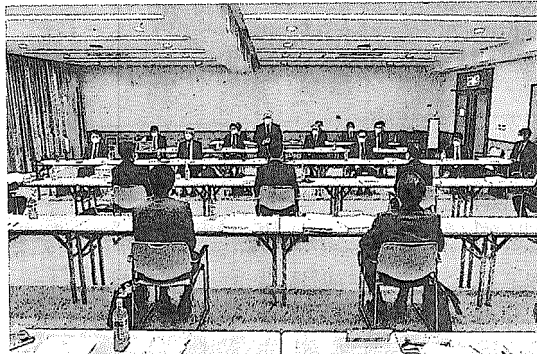
北九州支局 Ⅷ093(921)5011
長崎支局 Ⅷ095(827)5595
熊本支局 Ⅷ096(273)8708
大分支局 Ⅷ097(594)0518
鹿児島支局 Ⅷ099(259)3426

設計変更指針の適切運用確認

建コン協九州と福岡市が意見交換

総合評価導入を継続要望

（一社）建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は8日、福岡市と意見交換会（写真）を開き、「技術力による選定」「担い手確保・育成の環境整備」等に係るテーマについて意見を交わした。このうち「担い手」の項目では建コン協が、市発注業務で工期変更に応じてもらえなかった案件が他の具政令市と比較して高い割合となっていることを説明し、設計変更ガイドラインの適切な運用を要望。市も改善の必要性について言及した。



から田中支部長や尾長谷副支部長のほか、支部理事や地元会員らが出席。市側は財政局技術監理部の黒田寛部長のほか、財政局や道路下水道局、港湾空港局、水道局の関係課長らが対応した。

「技術力」に係る項目では、建コン協が魅力ある業界づくりの観点からも、総合評価方式の導入等について改めて要望。これに対し市は、地元コンサルタント企業などの意見を聴取しながら、検討を進めていきたいと応じた。

福岡市との意見交換会には、建コン協九州支部

田中支部長は、建設産業を取り巻く環境を踏まえ「DXなどによる生産性向上や働き方改革等で、仕事のやり方が大きく変わろうとしている。その活用には際しては、公共事業に携わる全ての企業が対応できるようにしなければならぬ。九州支部においても、誰でもできるDXを目標に取り

必要であり、本市ではDX関連や納期の平準化などを進めている。本日の会議を契機に、さらなる環境の整備に努めていきたい」と等とした。

意見交換のテーマは、各員共通の①担い手確保等の環境整備②技術力による選定③品質の確保・向上④DX推進の環境整備に係る項目のほか、福岡市への個別提案である▽表彰制度▽合同現地踏査の積極利用等について。

個別提案のうち「表彰制度」については、建コン協が表彰対象者の拡大につながる制度変更等を提案。市は、今年度から業務成績評価の改定を行っていることを説明し、新制度に基づく評価結果を見た上で、検討していきたいと等とした。

「現地踏査」では、同市の実施事例に対する支部アンケートで、回答のあった全ての企業から「効果があった」との声が寄せられていることを紹介し、積極的な利用を要望。市は、運用指針を定め、重要構造物の詳細設計や実施することが有効と考えられる案件で、現地踏査を進めていることを説明し、指針のつとめて適切に対応していきたいと等を示した。

「担い手の環境整備」では、土木設計等に係る設計変更ガイドラインの運用状況について意見を交換。建コン協が会員アンケートを基に、工期延長等を希望した2割近くの案件で変更に応じてもらえなかった（一部で条件に満たないなどの理由もあり）との状況を説明し、その割合が九州の具政令市と比較しても高い数値となっていることを指摘した。

これに対して市も、改善の必要があるとの認識を示し、そのためにも今

後、具体的な事例を報告してほしいと等とした。「技術力による選定」では、建コン協が魅力ある業界づくりの観点から「地元コンサルタントの意見も聞きながら、検討していきたい」と等と応じた。

拡大や総合評価方式の導入について要望するとともに、他の自治体による先進事例を紹介。市は「地元のコンサルタントの意見も聞きながら、検討していきたい」と等と応じた。